

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公表番号】特表2018-527967(P2018-527967A)

【公表日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-037

【出願番号】特願2017-567414(P2017-567414)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0215 (2006.01)

A 6 1 B 5/027 (2006.01)

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/0215 C

A 6 1 B 5/027

A 6 1 M 25/09 5 0 0

A 6 1 M 25/09 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月28日(2019.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ソリッドコア部材、及び、前記ソリッドコア部材を取り囲む外層内に埋め込まれる複数の導体を有する近位部と、

前記近位部に結合され、スロット付き管状部材、及び、前記近位部の前記複数の導体に電気的に結合される検知要素を有する遠位部と、

を含む、検知ガイドワイヤ。

【請求項2】

前記遠位部は更に、前記スロット付き管状部材に結合される先端コイルを含む、請求項1に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項3】

前記検知要素は、前記スロット付き管状部材内に配置される、請求項2に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項4】

ハウジングを更に含み、前記検知要素は、前記ハウジング内に配置される、請求項2に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項5】

前記ハウジングは、前記先端コイルと前記スロット付き管状部材との間に配置される、請求項4に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項6】

前記検知要素は、前記スロット付き管状部材内に配置される、請求項1に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項7】

前記スロット付き管状部材は、前記検知ガイドワイヤの遠位端まで延在する、請求項6に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項 8】

前記複数の導体は、2乃至6個の導体を含む、請求項1に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項 9】

前記検知要素は、圧力センサ又は流量センサを含む、請求項1に記載の検知ガイドワイヤ。

【請求項 10】

検知ガイドワイヤを組み立てる方法であって、

ソリッドコア部材、及び、前記ソリッドコア部材を取り囲む外層内に埋め込まれる複数の導体を有する近位部を得るステップと、

遠位部のスロット付き管状部材が、前記近位部から遠位に延在し、前記遠位部の検知要素が、前記近位部の前記複数の導体に電気的に結合されるように、前記遠位部を前記近位部に結合するステップと、

を含む、方法。

【請求項 11】

前記スロット付き管状部材に先端コイルを結合するステップを更に含む、請求項10に記載の方法。

【請求項 12】

前記検知要素を前記スロット付き管状部材内に配置し固定するステップを更に含む、請求項11に記載の方法。

【請求項 13】

ハウジングを前記スロット付き管状部材に結合するステップと、前記ハウジング内に前記検知要素を固定するステップと、を更に含む、請求項11に記載の方法。

【請求項 14】

前記ハウジングを前記スロット付き管状部材に結合する前記ステップは、前記ハウジングを前記先端コイルと前記スロット付き管状部材との間に配置するステップを含む、請求項13に記載の方法。

【請求項 15】

前記検知要素を前記スロット付き管状部材内に配置し固定するステップと、非外傷性先端を前記スロット付き管状部材の遠位端に結合するステップとを更に含む、請求項10に記載の方法。